

# スマート農業現地実演会を開催 ～スマート田植機、ドローン、水管理省力化システム～

令和元年6月12日  
農林水産部

今年度採択された農林水産省の「スマート農業技術の開発・実証プロジェクト」において、中山間地域の水稲に適合したスマート農業技術を実証・展示することとしております。この度、現地実演会を開催しスマート農業技術の効果を広く農業者や関係機関にPRしましたので、下記のとおり概要を報告します。

## 記

- 1 日時 令和元年6月11日（火）午前10時30分～12時
- 2 場所 農事組合法人ほづスマート農業実証ほ場（亀岡市保津町石ノ子）
- 3 来場者 約200名  
〔生産者 34名、コンソーシアム構成企業 4社 18名、大学 10名、JA等 23名、  
市町村 24名、農水省 16名、府普及員等 66名 他〕
- 4 内容 ①直進キープ機能付き田植機実演、②ドローン模擬防除、  
③水管理省力化システム操作



①直進キープ田植機で手放し運転(クボタ)



②ドローンでハイスピード防除(Skylink)



③スマホの操作で自動給水(積水化学)



③タブレットで水温・水位を確認(NTTドコモ)

### 〈生産者の感想〉

「きれいに田植えをするのは難しい作業だが、この田植機はストレスや疲労が少なく、経験の差を埋めてくれる技術」

「自動給水なら水田の見回りを減らせる」

「ドローンは思ったより静音で操作も簡単そう」

### 5 今後の予定

スマートフォンによる生育診断(京都大学)、スマートコンバイン、自動運転トラクタ(クボタ)等の実証・調査を行い、中山間地域水稲に適した一貫技術体系の構築を目指します。

流通・ブランド戦略課 上原課長、蘆田担当課長  
農林水産技術センター 加藤センター長